

おだがいさま

odagaisama

第 31 号
平成 22 年
11月15日発行

朝日地域 元気が一番!! 「グラウンドゴルフ大会」開催



福祉のつどいを開催しました(P2~4)

歳末たすけあい運動のお願い(P5)

情報掲示板(P6)

朝日地域では高齢者のグラウンドゴルフ大会が行われ、青空の下、総勢78名が熱戦を繰り広げました。ほとんどの参加者がマイスティック・マイボールを持ち、ホールインワンを目指しながら2コースを回り、合計得点で争いました。

今年度は7月と10月にグラウンドゴルフ大会が行われ、2月には軽スポーツ大会を予定しています。高齢者の方々が集まり、スポーツを通して生きがいや健康づくり、仲間づくりを行っています。

福祉のつどいを開催しました

おだがいさまのまちづくりを
目指して

去る10月15日（金）、中央公民館ホールで第4回福祉のつどいを開催しました。当日は400人を越える市民の方からご参加いただきました。



オープニング くしびき保育園・くしびき東部保育園の園児のみなさんが歌と踊りを披露してくれました。

講演

演題 おだがいさまのまちづくり～鶴岡市の10年後の地域福祉をさぐる～
講師 法政大学現代福祉学部 教授 宮城 孝氏

地域福祉の実践・計画づくり研究の第一人者である宮城孝氏より、他市町村での指導・実践事例を交えながら今後の鶴岡市の地域福祉について講演いただきました。



宮城 孝氏

少子高齢化の進展と暮らし・地域の問題

二〇一〇年九月二十日現在の全国高齢化率23・1%に対し、鶴岡市は28・4%と全国より高い率を示しています。少子高齢化が進み、それぞれの暮らしや地域の中で次のような問題が起きてきます。

- ・介護問題が深刻化する。
- ・独居高齢者の閉じこもり、孤独死が増加する。
- ・母親らの子育て不安が広がる。
- ・通院・外出・買物など日常生活の外出が困難な人が増加する。
- ・災害時の高齢者・障がい者などの支援が必要になる。

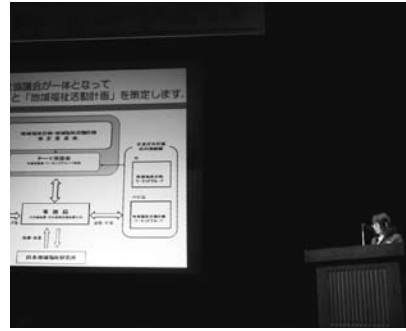
これからの地域支えあい 「おだがいさまのまちづくり」

超高齢社会到来に向け、次のような地域福祉活動が大切になります。

- ・地域における声かけの機会やふれあいの場を増やし、見守られることの安心感・参加することの満足感を地域の中につくる。
- ・具体的に声かけ・見守りが必要な人を明らかにし、本人から了解を得た上で行政・民生児童委員や地域包括支援センターなどで情報を共有する。
- ・家族介護などの住民の経験を地域における声かけ・訪問・サロン・趣味活動・介護予防などに活用し、住民パワーを活かした地域福祉活動を展開する。
- ・住民と民生児童委員、行政・専門機関の連携を強くし、児童虐待など難しい問題はなるべく早く行政・専門機関に相談できる関係をつくる。
- ・シニア世代や若者など今後の地域福祉の担い手を育て、次世代へつなぐ活動を行う。
- ・一人ひとりが行動することで、支え合いの地域がつけられると示唆にとんだお話をいただきました。

市社協の活動紹介

活動紹介の様子



▲スライドを使って説明を行いました。

平成二十二年度に策定する「地域福祉活動計画」への取り組みについて紹介しました。

この計画は、平成二十三年度から平成二十七年まで鶴岡市における地域福祉活動をどのように進めていくかを定めるものです。

「地域福祉計画」とは？

支援が必要な人々が地域の中で生活する上で解決すべき課題を明らかにし、必要なサービスやそれを提供する体制を整備することを目的とする計画であり、地域住民などの参加を得てつくる行政の計画です。

「地域福祉活動計画」とは？

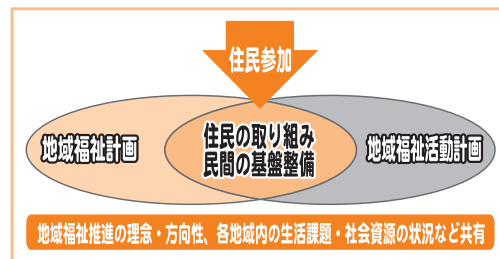
地域内のさまざまな地域資源と住

民や民間団体の行う活動を結びつけながら、地域の課題解決という「地域福祉計画」と共通の目的に取り組み、社協が中心となつてつくる民間の計画です。

鶴岡市では…

行政と市社協が一体となつて二つの計画を策定します。

2つの計画が目指すものは同じです

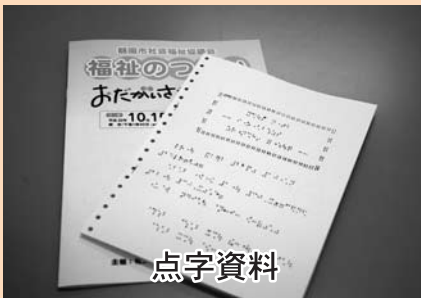


2つの計画の関係イメージ図

地域福祉活動計画策定の流れ

- ① 旧計画等の検証
- ② 課題調査の実施
- ③ 課題・テーマの抽出及び検証
- ④ 重点課題の整理
- ⑤ 計画骨子の設定
- ⑥ 原案検討
- ⑦ 地域福祉計画・地域福祉活動計画完成（平成二十三年三月底）

聴覚・視覚に障がいのある方からのご参加いただくために…



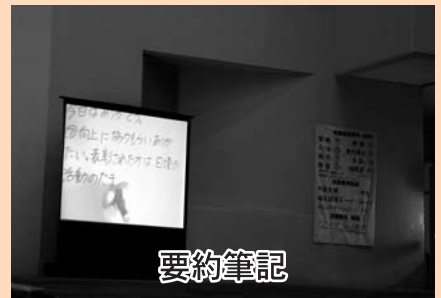
点字資料

▲「鶴岡点字サークル」さんから点訳していただき、点字のパンフレットを準備しました。



手話通訳

▲手話奉仕員さんから手話通訳をしていただきました。



要約筆記

▲ステージ脇にスクリーンを配置し、「ばんけの会」さんから要約筆記をしていただきました。

作る笑顔 見る笑顔 スマイル作品展

中央公民館の大視聴覚室にてスマイル作品展を開催しました。

10月12日～15日までの4日間の開催で延べ1,200人の方からご観覧いただきました。



▲社協のデイサービス・特別養護老人ホームなどの利用者さんが趣味を活かして作成した作品を展示しました。

障がい者福祉施設 製品の展示・販売



「かたぐるま」「もみじが丘」「おからや」「さくらが丘」の4施設が出店しました。

福祉のつどい

おたがいさまのまちづくりを目指して

表彰

長年、地域福祉の向上に貢献された方や団体へ富樫会長が表彰状・感謝状を贈呈しました。



表彰状

※川井 智子氏（鶴岡地域）

昭和六十年から食生活改善推進員として第一学区社会福祉協議会の会食交流会事業の献立調理全般に従事され、また、平成十六年から第一学区社会福祉協議会常任理事、平成十九年からは同副会長として活動し、地域福祉の向上に貢献されています。

※森村 孝雄氏（鶴岡地域）

鶴岡市麺類組合会長として、平成二年から二十年間継続して第五学区社会福祉協議会の高齢者一人暮らし会・配食交流会に年一回無料で麵の提供を行い、地域福祉事業の充実に貢献されています。

※小田 繁喜氏（鶴岡地域）

鶴岡市麺類組合副会長として、平成二年から二十年間継続して第五学区社会福祉協議会の高齢者一人暮らし会・配食交流会に年一回無料で麵の提供を行い、地域福祉事業の充実に貢献されています。

※佐藤 清女氏（鶴岡地域）

平成八年から京田地区社会福祉協議会の評議員としてボランティア活動の推進に努め、平成十一年からは同会長として配食サービスの立ち上げ、お茶のみサロンの充実、京田地

区の高齢者まつり開催などに尽力し地区社協創成期より地域福祉の進展に貢献されました。

※野地 広章氏（鶴岡地域）

平成六年からハンディキャブ号の運転ボランティアを始め、また、本会施設で清掃や窓拭き、小修繕を行うなど幅広くボランティア活動を実践し、地域福祉の向上に貢献されています。

※鶴岡地区社交ダンスサークル連合会（鶴岡地域）

平成元年から年二回チャリティ社交ダンスパーティーを開催し、収益金の一部を赤い羽根募金へ募金を行うほか福祉施設へ家電製品の寄贈を行い、地域福祉の向上に貢献されています。

※出羽商工会青年部榊引支部（榊引地域）

昭和五十年代後半から地元への社会貢献として福祉施設で餅つきを披露し、地域の高齢者や園児らとの交流を深め、福祉のまちづくりに貢献されています。

※五十川自治会（温海地域）

平成七年に温海地域で発生した集中豪雨による水害後、避難訓練や緊急時の体制作りに取り組み、平成十一年には隣組を単位に「のきなみ福祉ネットワーク」を設立して要援護者の見守り支援体制を確立し、住民

が安心して暮らせるまちづくりに貢献されています。

感謝状

※小澤 實氏（藤島地域）

平成元年から、歳末たすけあい募金の趣旨に賛同し、経済的に支援を必要とする方々に対して募金を継続的に行われています。

※高橋はるめ氏（羽黒地域）

平成十一年から特別養護老人ホームかみじ荘にて、リネン交換などのボランティア活動を行うとともに、本会主催の各種事業やボランティア交流会へ参加・協力をいただいています。

※金内 とし氏（羽黒地域）

平成十一年から特別養護老人ホームかみじ荘にて、リネン交換などのボランティア活動を行うとともに、本会主催の各種事業やボランティア交流会へ参加・協力をいただいています。

※羽黒やまびこ会（羽黒地域）

平成十三年度から「羽黒山石段マラソン全国大会」やチャリティダンスパーティーを開催し、羽黒地域のまちおこしとともに地域福祉の充実に貢献してきました。

平成22年度歳末たすけあい運動に

 **ご協力をお願いいたします**

今年度も共同募金運動の一環として、

『みんなでささえあう あったかい地域づくり』

をスローガンに、歳末たすけあい運動が全国一斉に展開されます。

皆様からご協力いただきます募金は、鶴岡市社会福祉協議会配分委員会において、経済的に支援を必要としている世帯等に対して配分される予定です。

**歳末たすけあい募金運動の趣旨をご理解いただき、
何卒ご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。**

◎運動期間 11月1日(月)~12月31日(金)

◎お願いしたい募金額 1世帯あたり 210円以上



◆平成21年度の募金実績と配分（使われ方）について◆

(1) 募金実績額

9,607,149円

(2) 配分（使われ方）

①経済的に支援を必要としている世帯へ	8,787,000円
②児童養護施設の入所者へ	159,000円
③社会福祉協議会の地域福祉活動へ	373,149円
④募金運動事務費として	288,000円

昨年度、皆様からご協力いただきました募金は、上記のように配分贈呈いたしました。

情報掲示板

鶴岡老人福祉センターまつり 開催のご案内

- 日時 11月19日(金) 午前9時～午後3時30分
- 内容 歌や踊り、軽食コーナー、障がい者施設などによる出店
- 申込み 鶴岡老人福祉センター
鶴岡市馬場町13-2 ☎24-0066

第45回山形県老人福祉大会 が開催されました

去る10月20日(水)に社団法人山形県老人クラブ連合会主催で鶴岡市文化会館を会場に「第45回山形県老人福祉大会」が開催されました。当日は県内各地から約1,200人以上の参加がありました。



福祉のしごとミニフェア3 ～集団面接会2010～開催のご案内

- 日時 11月16日(火) 午後1時～4時30分
 - 会場 いろり火の里『なの花ホール』 1階大ホール
三川町大字横山字堤172-1 ☎66-4833
 - 内容
 - ・事業所と就労希望者との個別面接(面談) 10ブース
【午後2時30分～4時30分】
 - ・各種相談コーナーの設置
社会福祉士相談コーナー・介護福祉士相談コーナー・福祉の就職相談コーナー
【午後2時30分～4時30分】
 - ・講演会
演題「寄り添うということ～暮らしと医療をしなやかにつなぐ～」
講師 NTT関東病院 リハビリテーション科 部長
脳卒中センター リハビリテーション専門医
稲川利光氏
【午後1時～午後2時20分】
- ※事前申込不要、入場無料
- 問合せ 山形県福祉人材センター
山形県山形市小白川町二丁目3-30
☎023-633-7739

ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます。
(平成22年8月21日から平成22年10月20日までのご寄付を掲載しています)

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センター

- ・鶴岡カラオケ友の会 様 30,000円
- ・鶴岡なつメロ愛好会 様 100,000円
- ・八沢会 様 100,000円

◎藤島福祉センター

- ・匿名 タオル100枚、マスク250枚
- ・藤島ゲートボール協会 様 15,000円

◎羽黒福祉センター

- ・町屋老人クラブ 様 12,123円
- ・羽黒やまびこ会 様 20,000円
- ・田川民話の会羽黒支部 様 5,000円

◎鶴引福祉センター

- ・犬塚 潤二 様
ジュニアシート1台、トラベルベスト1着、
ベビーバス1台、プレイジム1台
- ・匿名 チャイルドシート2台
- ・石井 三雄 様 ジュニアシート1台

◎温海福祉センター

- ・兼子 銀 様 50,000円
- ・五十嵐公行 様 100,000円
- ・三浦 新彌 様 30,000円
- ・清流自然米研究会 代表 佐藤 三吉 様
新米(恋慕の舞) 33kg

- ・佐藤きの江 様 衣料品

★鶴岡市ボランティアセンターへ

- ・(有)サンアール 様 車いす12台

★鶴岡老人福祉センターへ

- ・菅野 清康 様 マッサージチェア

★高齢者福祉センターおおやまへ

- ・長谷川芳子 様 100,000円、
リクライニング式車いす、加温器

★鶴岡西部児童館へ

- ・南葉 寿子 様 幼児用玩具、児童図書

「やってみるがの」

初めてのことに挑戦する。誰でも不安な気持ちになるのではないだろうか。

十月十二日から十五日まで中央公民館で開催した「スマイル作品展」に出席するため、利用者さんから「ちぎり絵」と「ひざ掛け」制作に取り組んでいた

和紙をちぎる人・それを絵に合せて貼る人、毛糸を編む人、それれがお互いに昔の思い出や世間話をしたり、時には真剣な表情を見せ、試行錯誤しながら和やかに作業は進んでいきました。

そして出来上がった時の利用者さんは達成感溢れ清々しい笑顔。みんなで心を通わせ作り上げた作品はまた一つ我がデイサービスの財産となりました。次は何に挑戦しようかな? (M・O)

◎ほっと「ラム」

おだがいさま

第31号
平成22年11月15日発行
発行部数 49,500部

編集・発行
社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会
鶴岡市泉町5番30号(にこ♥ふる 2階)
TEL 24-0053 FAX 23-9110
ホームページ <http://www.shk01.jp/>

藤島福祉センター TEL 64-3100
羽黒福祉センター TEL 62-4534
鶴引福祉センター TEL 57-5300
朝日福祉センター TEL 53-2795
温海福祉センター TEL 43-3266

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。